

事務事業 No./名称	■サービス部門 子育て22 母子生活支援事業 □支援部門						
主管課	子ども相談課	関連課	生活福祉課、保険年金課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	母子家庭の自立に向けた制度の充実を図る。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	347,528	351,943	322,706			
	(国・県)	111,653	121,900	98,574			
	(負担金等)			2,506			
	(一般財源)	235.875	230,043	221,626			
	人員配置数	2.0	1.5	1.4			
	人件費(千円)	16,072	12,963	12,354			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	363,600	364,906	335,060			
	市民1人当りの経費(円)	2,052	2,059	1,891			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	対象者1人当りの経費(円)						
	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
母子自立支援員相談件数	△	目標値	900	900	900	900	900
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	807	735	892	809	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
母子生活支援事業	347,528千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	児童扶養手当の支給、ひとり親家庭自立支援員による相談、家賃助成、高等技能訓練促進費の支給等によりひとり親家庭の生活安定を図り、自立を促進した。			
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				
		①効率性 □ ②妥当性 □ ③有効性 □ ④公平性 □	⇒ □A □B □C □D □E	⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	ひとり親家庭の生活実態やニーズを適切に把握する必要がある。		
課題解決のための取組	ひとり親家庭自立支援員および職員が、窓口相談において実態を把握するとともに、ひとり親家庭の自立に向けての知識の向上に努めた。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	ひとり親家庭の精神的・経済的自立に向けた、総合的な支援が必要である。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了		
	➡	②妥当性 ○		↓	個別のケースに応じた適切な対応を行うために、「ひとり親家庭自立支援員」をはじめとした職員の相談技術の向上、知識の向上を図る。関係課、ハローワークとの連携を図り、総合的な支援体制を強化する。	課長等名	
		③有効性 ○				A	子ども相談課長
		④公平性 ○					福谷 日登志

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
母子生活支援事業	主な個別事業	73 母子自立支援員報酬	5,400	5,400	○	○	○	○
		73 児童扶養手当認定医報酬	30	30	○	○	○	○
		73 遺児卒業祝金	510	330	○	○	○	○
		73 ひとり親家庭等児童大学進学支度金	2,400	1,860	○	○	○	○
		73 ひとり親家庭自立支援員旅費	323	303	○	○	○	○
		73 児童扶養手当消耗品費	60	35	○	○	○	○
		73 日常生活支援活動補償保険	28	27	○	○	○	○
		73 ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料	183	14	○	○	○	○
		73 鎌倉市母子寡婦福祉会補助金	40	40	○	○	○	○
		73 母子家庭自立支援教育訓練給付金補助金	120	0	○	○	○	○
		73 母子家庭等家賃助成	27,360	25,008	○	○	○	○
		73 児童扶養手当	311,547	306,559	○	○	○	○
		73 母子等福祉資金貸付金	200	0	○	○	○	○
		73 社会福祉基金積立金	29	36	○	○	○	○
1269 母子家庭高等技能訓練促進費	9,368	7,886	○	○	○	○		
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							